

ゴール14「海の豊かさを守ろう」



SDGsゴール14は「海の豊かさを守ろう」を目標としています。地球の約7割を占めている海。

私たちはこの海から多くの恵みを受けています。しかし、豊かな恵みをもたらす海は、私たちの出すプラスチックごみにより汚染が進んでいます。

私たちが使うペットボトルやビール袋などのプラスチックごみが年間900万〜1400万トンも海に流れ出ています。1950年代から1970年代にかけては、プラスチックはわずかな量しか生産されていなかったため、プラスチックごみも適切に処理ができる程度でした。しかし、1970年代から1990年代の20年間で、プラスチックの生産量も、プラスチックごみも3倍に増えました。そして、2000年代に入ってから10年間だけで、20世紀で出した量以上のプラスチックごみが排出されました。もし、私たちがこのままの生活を続けると、海に出るプラスチックごみは、2040

年には2300万〜3700万トンへ増えると推定され、2050年には魚の量を上回ると言われています。

プラスチックの使用量を減らす取組が求められています。

○行政の役割としては

海洋汚染の原因の8割が陸上の活動に起因していると言われています。臨海都市だけでなくすべての自治体で汚染対策を講じることが重要です。

○私たちができること(例)

- ・エコバックやマイボトルなどを使用し、プラスチックごみをなるべく出さないよう心がける。

2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をしておきましょう。

私たちができること(例)



マイボトルを使用する。



エコバックを使用する。



ごみ拾いなど清掃活動を行い、海にごみが行かないようにする。

目標達成のためのターゲット

- 2025年までに、海洋ごみや富栄養化など、特に陸上の人間の活動によるものを含め、あらゆる海の汚染を防ぎ、大きく減らす。
- 漁業や水産物の養殖、観光を持続的に管理できるようにし、2030年までに、開発途上の小さい島国や、もっとも開発が遅れている国々が、海洋資源を持続的に利用することで、より大きな経済的利益を得られるようにする。

SDGs 14「海の豊かさを守ろう」では、上の2つのターゲットを含む、全10のターゲットを掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めていきます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

問 みらい創生課 企画・SDGs推進班 ☎ (72) 1151